

初めての「学校給食」(1年生)



本校では、給食開始に合わせて、1年生も2～6年生同様に初日(4/9)から学校給食を食べることになっています。担任の吉本・河合先生を中心に、青山先生、そして6年生の児童にお手伝いをしてもらい、失敗することなく協力して準備することができました。岡崎市では、市内の栄養士が相談して工夫した献立を給食センターの職員さんが心を込めて作ってくださっています。適切な

栄養の摂取によって、健康の保持増進を図ることができます。給食に関わるたくさんの人の思いと愛情を忘れず、感謝の気持ちをもっていただきましょう。給食は、仲間と同じ食事を食べながら、お互いのつながりを深め、楽しい時間を過ごしてほしいと思います。

春うらら “春の うららの 隅田川 ♪”

「春の うららの 隅田川 ♪」という歌い出しで始まる「花」は、誰もが耳にしたことのある歌でしょう。これは、滝廉太郎作曲、武島羽衣作詞の唱歌です。「春のうらら」とは、「空が晴れて、日が柔らかく、静かで穏やかな様子」を意味しており、日本の春の雰囲気を実によく表した言葉です。他にも、春に関係する風情ある言葉として「春爛漫(はるらんまん)」「春風駘蕩(しゅんぷうたいとう)」などがあります。厳しい冬が明けて芽吹く草花のように、いずれも私たちに、明るくのどかなイメージをもたらしてくれる言葉です。

一方で、海外の人は、冬から春へ、春から夏へとうつろう四季への感慨を深く持っていることに対して、不思議に思うことがあるようです。四季がはっきりした自然環境の中で、先人たちは、季節から感じられる風情や趣を大切にしようとする心を育んできました。

美しい日本の言葉とともに、自らもまた、春のように柔らかで穏やかにありたいものです。



今週から、「常南のヒーロー」ボックスが再スタートしました。今年、Hボックスを各学級、そして校長室前に設置することにしました。これから学校生活を送っていく中で、友だちの良いところをたくさん見つけてほしいと思います。友だちの良いところを素直にすばらしいと認める人、そして、そんな素敵な学級や学校になれたならば最高ですね。